

■ 海運業の発展に尽くす

中川 重春

なかがわ しげはる

出身地 男鹿市

1890年（明治23年）～1963年（昭和38年）

船川港の近代化と海外貿易航路の開拓を痛感。船川電気・中川合資会社・中川汽船を創立。船川とウラジオストク間に定期航路を開設。秋田の近代化と海運振興に尽くす。



年譜

- 1890年 男鹿市に生まれる。幼名・順吉。
- 1909年 早稲田大学中退。
- 1916年 船川電気を創立。
- 1919年 中川合資会社を創立。
- 1926年 ウラジオ視察団を組織、昌福丸で出発。
- 1927年 中川汽船を創立。
- 1936年 衆議院議員。
- 1938年 中川運輸株式会社を創立。
- 1954年 初代男鹿市長。
- 1963年 東京都で没。73歳。